

六年生国語 俳句

次の俳句は、卒業した六年生が五月に詠んだ句です。季語は、「しゃぼん玉」
俳句は、五七五の十七文字でできています。五七五を意識してリズム良く読みましょう。

足下の小さな努力しゃぼん玉
しゃぼん玉記憶とともに忘れ行く
思い出が消えてきらめくしゃぼん玉
しゃぼん玉宇宙への道たどってく
しゃぼん玉徹頭徹尾のいい人生
地平線ぱつとでてきたしゃぼん玉
しゃぼん玉涙と共に消えていく
しゃぼん玉昔の恋と忘れ行く
しゃぼん玉人の気持ちに乗せていく
しゃぼん玉いろんな道に散らばって
しゃぼん玉空の向こうへ消えていく
ともに行く思いが届くしゃぼん玉
しゃぼん玉子らの足音なりひびく
人生はうごいて消えるしゃぼん玉
しゃぼん玉人生色をうつすかな
しゃぼん玉電車のように走り行く
しゃぼん玉ガンダム動くその日かな

右の句の中から好きな句をひとつ選んで、その理由をくわしく書きましょう。どんなところが好きなのか。季語や言葉からどんな情景や心情が読み取れるかを考えてみてください。次のページを印刷できる人は、ワークシートに書きましょう。印刷ができない場合は、国語のノートに書きましょう。

名前

いちばん好きな句
ていねいにうつしましょう。

--

いちばんに選んだ理由をくわしく書きましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--

登校日に提出してください。